

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

中延・三木小の空教室で5歳児保育という待機児解消策 健全な発達を保障できるのか

保育園に入れないうわゆる「待機児童」は品川区も例外ではなく、いまや社会問題になっています。区が発表した解消策のひとつ「5才児を保育園から切り離して小学校の空き教室で保育する」案は、モデルとしてははじめるといいますが、子どもの育ちに大きな問題を残します。やめるべきです。

「保・幼・小連携が先ではない」を強調

今年初めて開いた文教委員会で、日本共産党の中塚亮区議は待機児解消策について質問しました。

まず、なぜ学校の空き教室なのかについて質問すると、古川部長の答弁は「待機児の解消にさまざまな資源を活用するそのひとつだ。保育園と幼稚園、小学校



中延保育園(上)と中延小通用門(右)

の連携が先にあるのではない」ということでした。そうであるなら、1月4日付サンケイ

新聞の記事に「待機児童の解消になるほか5歳児のうちから小学校の雰囲気を経験すること、・・・小1プロブレムの解消につながるなどさまざまな利点があるはず」と強調していることや、同日付の東京新聞では『品川区モデル

事業』というタイトルと、保幼小連携部の分のみの記事になった

給食やおやつ子どもの生活はどうなるの？

また、保育園での生活についてどのように過ごすのかに

ついて質問すると、「学校内でも変わらない。『のびのび品川っ子』に基づいて、あさ7時半から夕方8時半までと延長保育までは学校(内で生活すること)が基本。保護者の要望や兄弟関係もあるので、保育園で受け入れて9時前後に学校へ行く(移動のこと)。給食は学校でつくったものを食べる。おやつは保育園で食べ、その後はお迎えまで保育園で過ごす。」と説明。

保育園では、5才児の保育室をなくして定員を上回って子どもを入園させるのに、おやつ後5歳児ほどの部屋で遊ぶのでしょうか。居候のように空いた空間を探して遊べということでしょうか。とんでもない、無責任な考え方に傍聴していて腹が立ちました。子どものことをまったく考え

ていないのです。

5歳児の存在は他の子どもにとっても重要との主張を区は無視できなかった

区議団は、区議会報告新春号でこの5歳児切り離し問題を取り上げ、根本的な間違いを指摘する記事を書きました。その指摘は、5歳児の存在は保育園では大きな役割を發揮していること、他の子どもたちにとって「大きくなったらあんなことができるようになる、やってみよう」という憧れと啓発を促される点で大事な存在であることです。

その指摘を無視できず、指摘されないようにと、とんでもない対策(5才児を「居候」扱いする無責任な考え方を

発表したのです。区議団報告を読んだ区民から、「区は本当に子どものことを考えていない」という意見がたくさん聞かれました。

生活と健康を守る会が品川区に予算要望書提出

年明け早々の1月6日、生活と健康を守る会が品川区に来年度の予算要望書(6重点要求)を提出しました。副区長と企画部長が対応しました。会長から副区長に要望書を手渡した後、各理事から1項目ごとに内容を説明し実現を求めました。説明後、副区長は「区長に必ず伝えます」と発言。区側から企画部長も参加、南も同席しました。

6重点要求の内容は、

- ①高齢者のための緊急通報システムは、低所得者が無料で利用できるよう改善してください。
- ②区内に特別養護老人ホームを増設してください。
- ③高齢者住宅を増設してください。
- ④休日・夜間でも生活保護の申請を受け付けるなどの相談窓口を設置してください。
- ⑤区営住宅をたくさん建設してください。
- ⑥「臨界斎場」を利用するための送迎バスを運行してください。

生活・雇用・子そだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員

電話(3790)1523